

2 A for B型の動詞

- < blameタイプ: 賞罰・非難を表すモノ >
- ① () 「称賛する」 / ② ()・() 「非難する」
 - ③ () 「に罰金を科す」 / ④ () 「許す」
 - ⑤ () 「許す」 / ⑥ () 「ほめる」 / ⑦ () 「罰する」
 - ⑧ () 「に賞を与える」 / ⑨ () 「尊敬する」
 - ⑩ () 「叱る」 / ⑪ () 「に感謝する」

(A) 上のVは "V A for B" の形で「をを表す!
 We praised him for his diligence. 「私たちは彼を勤勉だとほめた。」

(B) forの次に () をおいて、「を」という形も多くとる!
 He scolded her for neglecting her duty. 「彼は義務を怠ったことで彼女を叱た。」

⑫ () 「責める・訴える」は forではなく () をとるので注意!
 I accused him of stealing a car. 「彼を車の窃盗罪で訴える。」

3 A with B型の動詞

- < provideタイプ: 供給・付託を表すモノ >
- ① () 「備えつける」 / ② () 「供給する」 / ③ () 「供給する」
 - ④ () 「と比較する」 / ⑤ () 「と同一視する・関連づける」
 - ⑥ () 「印象づける」 / ⑦ () 「贈る・与える」
 - ⑧ () 「供給する」 / ⑨ () 「供給する」
 - ⑩ () 「分かち合う」 / ⑪ () 「供給する」

(A) 上のVは "V A with B" の形で「の」の意味を表す!
 I furnished the kitchen with a cupboard. 「台所に食器棚を取り付けた。」

(B) present は () をとることもある。()・()・()
 もアメリカ英語では () をとる。

(C) AとBの順を逆にして () や () をとるものがある。
 (1) to をとるもの → ()・()・()・()
 (2) for をとるもの → ()・()

⑬ feed は 「BでAを飼う」の意味では () となる。